

長野市地域包括支援センター コンフォートきたながいけ

令和4年12月発行

# ほっとだより



発行責任者：川相 香子  
お問い合わせ：026-254-5250

## 「電話でお金詐欺」が多発!!

新聞やテレビで連日のように「電話でお金詐欺（特殊詐欺）」の被害が取り上げられています。主なターゲットは65歳以上の高齢者で、長野県においても被害者の80%が高齢者です。なぜ高齢者が被害に遭いやすいのでしょうか？実際に被害にあった方に取材し当時の状況について話を伺いました。（裏面へ）



### 長野県内「電話でお金詐欺」被害状況（令和4年10月末暫定値）

- ・被害件数 157件（前年同月比+33件）
- ・被害総額 4億4,565万円（同+2億1,593万円）
- ・1件あたりの被害額 283万円余
- ・被害件数ベスト3 「オレオレ詐欺」、「架空料金請求詐欺」、「キャッシュカード詐欺盗」

（詳しくは長野県警HPをご覧ください）



### サギ撲滅心得之条

- その一、電話で息子のトラブル金絡みは詐欺を疑うべし
- その二、「保険料払戻金ATMで操作」は詐欺を疑うべし
- その三、「電子マネーで支払え」は詐欺を疑うべし
- その四、「キャッシュカードを渡せ」は詐欺を疑うべし
- その五、「自分だけはだまされない」お湯に浸かって改めるべし



大豆島交番の精鋭達

お金の話が出たらまず詐欺を疑って下さい。  
「詐欺に遭ったかもしれない」という段階で  
警察に相談してもらっても構いません。

大豆島交番 026-221-9272

長野市地域包括支援センター コンフォートきたながいけ  
〒381-0025 長野市大字北長池935番地（老健コンフォート岡田内）  
☎026-254-5250 営業時間 月～金曜日 8:30～17:30  
（営業時間外は転送対応になります）



# 実録 私はこうして騙された!

取材：川相 香子

10月某日。午前9:00、Aさん宅の電話が鳴った。Aさんが電話に出ると、男性の声で「長野日赤病院です。(息子の名前)さんのお母さんですか?」と2度尋ねられた。Aさんが「はい」と答えると、男はAさんの息子が出張で長野に来ていること、その際に喉の痛みを訴え検査したところ癌の疑いがあり命の保障はないことを淡々と話してきた。Aさんは「命の保障がない」という言葉で頭の中が真っ白になった。

5分後、今度は息子を名乗る男から電話が入った。病院で置き引きに遭い、自身の財布や携帯電話、会社のカードを失くしてしまったと言う。一緒に来ている上司が診察代などを立て替えてくれたが、会社のカードを紛失したことの慰謝料が必要なため用立てて欲しいとのことだった。これから長野で暮らす同僚の子の車で自宅に向かうと言い、男は電話を切った。

さらに5分後、再度、息子を名乗る男から電話が入った。電話の向こうでは救急車のサイレンが鳴り響いていた。男は吐血したためこれから病院に引き返すところだと言う。「俺、大丈夫かなあ。お母さん。」と息子は呟いた。Aさんは一生懸命励ましの言葉をかけた。

12:00頃、同僚の子を名乗る男が自宅にやってきた。Aさんは100万円を封筒に入れて、「どうぞ助けてやって下さい」と深々と頭を下げて差し出した。封筒を手渡すと同時に自宅の電話が鳴った。男に電話に出るように促され、急いで部屋に戻り電話に出たがすぐに切れてしまった。その間に男の姿は消えていた。

その後、Aさんは家族に電話をし、そこで全て嘘だとわかった。すぐさま家族が警察へ通報。

同日15:00頃、警察がAさん宅を訪れ事情聴取、似顔絵作成、鑑識などを行った。19:00過ぎには全て終わったが、Aさんは騙されたことの憤りよりも、息子が無事だったことの安堵でいっぱいだった。



記者

Aさん

私みたいなケチがひっかかるんだから…皆さん、「自分は大丈夫」と過信しないことです。冷静になって考えると息子の声とは全く違うし、だいたい、「お母さん」なんて呼ばれたことなんて一度もない(笑) 高い授業料を払ったと思うことにして、こうやって皆さんにお話をし一人でも被害に遭う人が減れば幸いです。そして、警察官の皆様、その節は遅くまでご苦労様でした。(Aさん 80代 女性)

## REPORT

「自分は大丈夫」と根拠のない自信が正確な判断を狂わせます。普段から、だまされないように気をつけることが大切です。年を重ねると判断能力や声の認識能力に衰えがでます。そこに、考える余裕を与えず、まくしたてられるため高齢者は、ひっかかってしまいます。銀行員、警察官、病院、デパートなど巧妙に、日常生活における職業や役割を装って電話をかけてくるため見破るのは大変です。(記者)

## 対策はないのか?



地域包括支援センター  
コンフォートきたながいけ  
川相 香子(記者)

長野県長野中央警察署  
大豆島交番 所長  
山崎 友久 警部補

「オレオレ詐欺」は、特殊詐欺の代表的な手口です。離れて暮らしている息子などのフリをして「トラブルに巻き込まれてしまって金が必要だ」と電話をかけてきます。犯人は、考えさせないように急がせてプレッシャーをかけてきますが、変だなと思った場合は、知っている家族に電話をかけて下さい。ただ、犯人も同時に、家族に電話をかけていて、つながらなくなっていることもあります。そういった場合は、第三者へ相談してみることも効果的な対策です。また、日頃から、知らない番号からの電話には出ないことです。在宅中でも留守番電話を設定して相手を確認して電話に出るようにしましょう。(山崎所長)